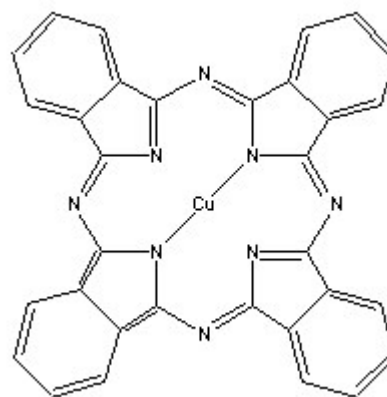


初期評価プロファイル (SIAP)

銅フタロシアニン

物質名 : Copper,(29H,31H-phthalocianinato(2-)-
N29,N30, -N31,-N32)-(SP-4-1)- :
Copper phthalocyanine
化学式 : C₃₂H₁₆CuN₈
CAS No. : 147-14-8



総合評価

SIDS 初期評価

本物質は現在のところ今後の調査の優先度は低い。

勧告の根拠の要約

銅フタロシアニン (ピグメントブルー-15) は、非揮発性固体で日本において、それぞれ1985年に約12,000トン、1991年に10,328トン製造されている。この物質は、水に不溶で、中性、酸性、又はアルカリ性溶液に対して安定である。SIDS のために行われた生分解性試験の結果から「易生分解性ではない」に分類される。また、本物質は魚類及び陸生植物に対する有害性は無い。

本物質は遺伝毒性を示さず、反復投与毒性によるNOAELは200mg/kg/day、生殖毒性によるNOAELは1000mg/kg/dayであった。よって反復投与毒性と生殖毒性それぞれについてのEDLCは、0.2mg/kg/dayと10.0mg/kg/dayが算出された。

本化学物質の1日摂取量は、MNSEM 145Jばく露モデルを用いた算出より、8.15E-4 mg/dayと推定された。

結論として、ピグメントブルー-15は難分解性であり、毒性試験結果は中程度の毒性を示すが、ばく露レベルを考慮すると現在のところ試験は必要ないとする。しかし、現実を反映して分析するためには、ばく露に関する国際的な情報の収集が必要である。

[著作権および免責事項について]

[著作権]

本資料の著作権は弊センターに帰属します。引用、転載、要約、複写 (電子媒体への複写を含む) は著作権の侵害となりますので御注意下さい。

[免責事項]

本資料に掲載されている情報については、万全を期しておりますが、利用者が本情報を用いて行う一切の行為について、弊センターは何ら責任を負うものではありません。また、いかなる場合でも弊センターは、利用者が本情報を利用して被った被害、損失について、何ら責任を負いません。